

## 1 題材について

## 【題材の目標】

- 曲想と音楽の構造との関わりや、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付ける。
- 音色、リズム、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いたり、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表すかについて思いをもったりする。
- 打楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞や器楽の学習に取り組み、いろいろな打楽器に親しむ。

〔指導事項との関連〕

A 表現（2）

器楽ア、イ(イ)、ウ(イ)

B 鑑賞（1）ア、イ

〔児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素〕

ア 音色 リズム

イ 反復 変化

## 【教材】

「ゆかいな時計」（ルロイ・アンダソン作曲）

「森のたんけんたい」（東一陽 作詞 野木雄大 作曲）

## 【題材について】

本題材は、児童が楽器の音色やリズム、旋律の反復や変化に気付き、そのよさや面白さを感じ取り、音楽の構造から情景を思い浮かべて聴いたり、歌詞のイメージに合う楽器の音を選んで表現を工夫したりすることをねらいとしている。

鑑賞教材「ゆかいな時計」は、児童にとって身近な打楽器で時計の様子をユーモラスに表している楽曲である。規則的なリズムで演奏されるウッドブロックが、フレーズの終わりで急にシンコペーションのリズムに変化する。また、時を刻む時計や目覚ましのベルの様子を、トライアングルなどの児童にとって親しみのある打楽器が演奏している。そのため、児童が楽器の音色に着目して時計の様子を豊かに想像しやすい楽曲である。音色やリズムの変化、反復などの音楽を形づくっている要素の働きを聴き取り、感じ取ったこととの関わりを考えながら、楽曲のよさや面白さを味わって聴く学習にふさわしい楽曲である。

器楽教材「森のたんけんたい」は、歌詞に「コンコンコン」「ポンポンポン」などの楽器をイメージしやすい擬音が用いられている。児童が、楽曲にふさわしい音色を探して、歌と合わせて思いに合った表現を工夫することに取り組みやすい楽曲である。

## 【児童の実態】

本学級の児童は、歌詞に表されている様子を想像して体の動かし方を工夫したり、感じ取った曲想や聴き取ったことを体の動きで確かめたりする学習活動をとおして、音楽を楽しむことに重点をおいて、鑑賞したり演奏したりする経験を重ねてきた。

「強さや速さをかんじて」の鑑賞の学習では、曲想と音楽の構造との関わりに気付き、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の楽しさを見だし聴くことができた。一方で、聴き取ったことと感じ取ったことが深く関連していることに気付き、自分なりの言葉で表現できる児童はまだ少ない。

また、打楽器の演奏については、様々な打楽器に興味・関心をもち、基本的な奏法を身に付けて演奏することができる児童が増えてきた。音色をよりどころとして自分の思いをもち、音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付ける学習は、本題材が初めてである。

## 【指導に当たって】

## ○ 主体的に学ぶための工夫

- ・ 児童が音色やリズムに興味・関心をもちことができるように、常時活動で様々なリズム打ちや手拍子の音色を工夫したリズムリレーなどを行う。
- ・ 児童が楽曲や演奏から聴き取ったことや感じ取ったことなどを、進んで話したりワークシートに表したりすることができるように、「音楽のかんじをあらわすことば」や「気持ちをあらわすことば」を掲示する。また、前時の学習をテレビ画面や板書に提示し、前時の学習を想起して関連付けることができるようにする。
- ・ 児童の思考の流れに沿った授業展開を心掛け、楽曲の特徴的な部分を取り出して聴いたり、児童の考えを確かめるために繰り返して聴いたりすることができるよう、音源の再生はタブレット端末を利用する。

## ○ 体を動かす活動の工夫

- ・ 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりに気付くことができるようにするために、音楽の特徴を捉える場面や想像力を働かせて楽曲を聴く場面、思いに合った表現を高めたりする場面など、目的に応じて体を動かす場を適宜取り入れるようにする。

## ○ 学びを深める場の設定の工夫

- ・ 友達の感じ方に気付いたり自分の感じ方を広げたりすることができるようにするために、学習活動や振り返りの場面において、聴き取った音楽についての考えや思いを交流する場（ペア、ご近所、全体）を毎時間設定する。

## 2 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①知 曲想と音楽の構造との関わりについて気付いている。(鑑賞)</p> <p>②知技 楽器の音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて打楽器を演奏する技能を身に付けている。(器楽)</p>	<p>思① 音色、リズム、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、様子を表す曲の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(鑑賞)</p> <p>思② 音色、リズム、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。(器楽)</p>	<p>態① 打楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞や器楽の学習活動に取り組もうとしている。(鑑賞、器楽)</p>

## 3 指導と評価の計画 (5時間)

丸数字・・・全員の学習状況を記録に残す場面

時	◎ねらい ○学習内容 ・学習活動	知・技	思	態
第一次	◎ 打楽器の音色やリズムなどの特徴を手掛かりに時計の様子を想像し、曲の楽しさを見いだしながら、全体を味わって聴く。			
第1時	○ 「ゆかいな時計」の曲想と打楽器の音色やリズムなどの特徴との関わりについて気付く。 ・ 「はじめ」の部分に出てくるウッドブロックの音を聴き取る。 ・ 「中」の部分に出てくるトライアングルの音を聴き取る。 ・ 「おわり」の部分に出てくるウッドブロックやカウベル・スライドホイッスルの音を聴き取る。 ・ 打楽器を打つ真似をしながら、曲全体を通して聴く。	①知		
第2時 (本時)	○ 「ゆかいな時計」の様子を表す音楽の楽しさを見いだしながら、全体を味わって聴く。 ・ 時計の様子が音楽の「はじめ」「中」「おわり」でどのように変わるか、想像しながら聴く。 ・ 音楽の特徴から想像した時計の様子を、ワークシートに絵や文章で記述する。 ・ 一番心が動いたところを見つけながら聴く。		①	
第二次	◎ 音色やリズムの面白さを感じ取りながら歌詞に合った楽器の音色を工夫するとともに、音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付ける。			
第3・4時	○ 「森のたんけんたい」の気分を感じ取って歌い、歌詞に合った音色になるように、楽器や演奏を工夫する。 ・ 曲想を捉えながら歌う。 ・ リズムの部分を手拍子で打つ。 ・ 1～3番の歌詞に合う楽器を選び、音色に気を付けて演奏を工夫する。		②	
第5時	○ 工夫した「森のたんけんたい」をグループごとに発表し、聴き合う。 ・ 音色に気を付けて演奏する。 ・ 互いの演奏を聴き合い、よいところを伝え合う。	②知技		①

## 4 本時の目標 (2/5時間)

☆ 打楽器の音色やリズムなどの特徴を手掛かりに時計の様子を想像し、曲の楽しさを見いだしながら聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴く。

## 5 授業の視点

- 板書や掲示，タブレット端末の使用，教師の声掛けは，児童の主体的な学びに有効であったか。
- 音楽の特徴を想起する場面や想像力を働かせ音楽と関わる場面などで取り入れた体を動かす活動は，それぞれの目的に即して効果的であったか。

## 6 本時の展開（2／5時間）

学習活動	教師の働きかけ(指示・説明・発問) 予想される児童の姿(・)	教師の支援(○) 個への支援(※)	評価(☆) (評価方法)
1 前時を振り返る。	<p>前の学習を思い出しながら，聴きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自由に体を動かして聴く。</li> <li>・ 題名を思い出す。</li> <li>・ ウッドブロック…時計の針の動き トライアングル…目覚ましベル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時に聴き取った打楽器の音色やリズム等を思い出せるよう，音楽に合わせて体を動かすよう促す。</li> <li>○ 曲全体の構造を想起できるように，前時での「ききとり」を板書しながら楽曲を聴く。</li> </ul>	
2 本時のめあてを確認する。	<p>一番『心が動いたところ(いいな!おもしろいな!わくわくするな!)』を見つけて，お家の人に紹介できるようになりましょう。</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     ようすを思いうかべながら，いいな!と思うところをみつけてきこう。                 </div>			
3 時計の様子が音楽の「はじめ」「中」「おわり」でどのように変わるか，想像しながら聴く。	<p>音楽の中の時計は，どのように動いていると思いますか。 時計に変身して，体を動かしながら聴きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時計になりきって聴く。</li> <li>・ 自由に体を動かす。</li> </ul> <p>想像した様子を話し合ひましょう。</p> <p>【はじめの部分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時計が歩いているよう。</li> <li>・ リズムが変わるところで針の動きが変わる。</li> <li>・ ウッドブロックが聴こえないところは，休憩しているみたい。</li> </ul> <p>【中の部分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誰かを起こそうとしている。</li> <li>・ 「起きて!」という気持ちで，目覚ましベルが何度も鳴っている。</li> </ul> <p>【おわりの部分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「はじめ」の音楽になったから，時計も同じ動きにもどった。</li> <li>・ やっと起きた感じ。安心。</li> <li>・ 最後に，急にリズムが変わって，目覚まし時計が壊れたみたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「時計になりきる」ことで，聴くことがより一層楽しくなるような雰囲気づくりをする。</li> <li>※ 自分なりの時計のイメージをもつことができるよう，様々なタイプの時計のイラストをテレビ画面で提示する。</li> <li>○ 友達と感じ方を共有し自分の感じ方を広げることができるよう，話し合う場(ペア・ご近所・全体)を適宜設定する。</li> <li>○ 部分ごとに児童が感じ取ったことを，前時の「ききとり」と関連させながら「かんじとり」に整理して板書する。</li> <li>○ 音楽(特に音色やリズム，反復，変化の部分)を根拠にして発言できるように，なぜそのように想像したのか問い返す。</li> <li>○ 児童が聴き取ったことや感じ取ったことを共有し確認できるように，タブレットで曲を部分的に再生する。</li> </ul>	
4 音楽の特徴から想像した時計の様子を絵や言葉で表す。	<p>音楽を聴いて想像した時計の様子をワークシートに絵や言葉で記入しましょう。</p> <p>自分の考えを友達と交流しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 絵や文章など自分が表現しやすい方法で，記入しやすいところから取り組んでよいことを伝える。</li> <li>※ 板書や掲示を参照して自分の想像に合う言葉を選べ</li> </ul>	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>☆ 音色，リズム，反復，変化を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さ，美しさを感じ取りながら，</p>

<p>5 楽曲全体のよさを共有する。</p> <p>6 学習を振り返りながら、曲全体を聴く。</p>	<p>ワークシートに、お家の人に紹介したい、「①いいな、おもしろいなおもったところ（はじめ・中・おわり）②聴き取ったところ③想像した時計の様子や自分の気持ち」を記入しましょう。</p> <p>書き終わった人から、近くの友達と考えを伝え合しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時計のリズムが最初は同じなのに、途中で急に変わるところがわくわくした。</li> <li>・ 「中」で目覚ましが何度も鳴るところがびっくりして楽しい。</li> <li>・ 時計が最初はちゃんと動いていたのに、さいごでこわれたのがおもしろい。</li> </ul> <p>学習を振り返りながら、全体を通して聴きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽の変化を感じながら体を動かしたり、耳を傾けたりして、曲全体を味わって聴いている。</li> </ul>	<p>るよう個別指導を行う。</p> <p>○ 全体交流では、児童の記入したことが共有できるように、音楽を聴いて確かめる。</p> <p>※ どう記述したらよいか迷う児童が活用できるよう、記入の仕方や話型を提示し、利用してもよいことを伝える。</p> <p>○ 友達と交流した後、ワークシートに書き足してもよいことを伝える。</p> <p>○ 体を動かす活動を取り入れたことで、より想像力を働かせて音楽を聴くことにつながり、おうちの人に紹介したいこの曲のよいところを見付けることができたことに気付けるように、学習のまとめをする。</p>	<p>聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、様子を表す曲の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>（発言の内容・行動の観察・ワークシートの記入）</p>
--	---	--	---

## 7 板書計画

いい音見つけて  
ゆかいな とけい  
アンダソンさつきよく

めあて ようすを思いうかべながら いいな！と思うところを 見つけてきこう。

はじめ	中	おわり
<p>前時で出た 【かんじトリ】</p> <p>歩いている。 ときどき、つまずく。 お休みのところは きゅうけい。 また うごきだした。</p> <p>かんじトリ</p> <p>休み</p> <p>①カッコッカッコ ②カッコッカッコ ③カッコカッ</p> <p>①②③ くりかえし</p>	<p>前時で出た 【かんじトリ】</p> <p>おきて～！ なん回もならしている。 ねぼうするよ！ はやくはやく！</p> <p>①カッコッカッコ</p> <p>ジリリリリリッ</p> <p>①② ③④ ⑤⑥ ⑦⑧</p>	<p>前時で出た 【かんじトリ】</p> <p>やっとおきた。 あんしん。 さいしょと同じうごき。</p> <p>こわれた。 でんちがなくなった。 ひっくりかえった。 たなから おちた。</p> <p>①②③ くりかえし</p> <p>ココ カッコッカッコッカッコ</p> <p>カンカン ヒュッ</p>